

2021年11月8日

2022年3月期 中間期 決算説明会

株式会社島津製作所
代表取締役社長 上田輝久

1. FY2021 中間決算 概要

2. FY2021 中間決算 セグメント別業績

3. FY2021 通期予想

4. トピックス：重点施策

中間期 業績サマリー



増収増益

売上・利益ともに過去最高を更新

- ・売上高・営業利益・経常利益・純利益の中間期過去最高を更新
- ・売上高は、中間期で初めて2000億円超、営業利益・経常利益・純利益も中間期で初めて200億円超
- ・計測、医用、産業は増収増益。計測、産業は売上高・営業利益とも過去最高を更新。航空は減収減益

国内外で増収

海外全地域で二桁%増

- ・日本では、計測の重点機種・PCR関連事業及び医用・産業が増加
- ・海外では、全地域で2桁%増加
- ・海外売上高比率は、前年同期比2ポイント増加の55%

計測重点機種は堅調に推移
産業TMPも増加を継続
アフターマーケット比率も増加

- ・計測の重点機種（LC・MS・GC）は前年同期比16%増の726億円、3機種ともに増加
- ・産業のTMPは5G対応機器向けなどの半導体需要の増加により、前年同期比26%増の127億円
- ・アフターマーケット比率は、前年同期比3P増の32%（計測：2P増の36%、医用：3P増の36%）

感染症プロジェクト Phase II
の取り組み推進

- ・新型コロナウイルス検出試薬キットは日本及び北米で、全自動PCR検査装置は日本で増加
- ・4月以降、企業・高齢者施設・教育機関など、PCR検査センター16ヶ所の開設を支援
- ・感染拡大の予兆把握を目的として、塩野義製薬と共同で新型コロナウイルスの下水モニタリングに着手

損益計算書

- 売上高 : 2,021億円 (前年同期比 : +233億円、+13%)
- 営業利益 : 288億円 (前年同期比 : +92億円、+47%)
- 営業利益率 : 14.3% (前年同期比 : +3.3pt)

売上高・営業利益・経常利益・純利益・営業利益率の全てで中間期過去最高を更新

単位：億円		中間期：4-9月		前年比	
		FY2021	FY2020	増減額	増減率
業績	売上高	2,021	1,788	+233	+13%
	営業利益	288	196	+92	+47%
	営業利益率	14.3%	11.0%	+3.3pt	
	経常利益	294	195	+99	+51%
	親会社株主に帰属する当期純利益	205	139	+66	+47%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	109.85	106.97	+1.86	+2%
	ユーロ(円)	130.93	121.33	+9.60	+7%
主要投資	研究開発費	75	71	+4	
	設備投資額	63	59	+4	
	減価償却費	80	76	+4	

為替影響額

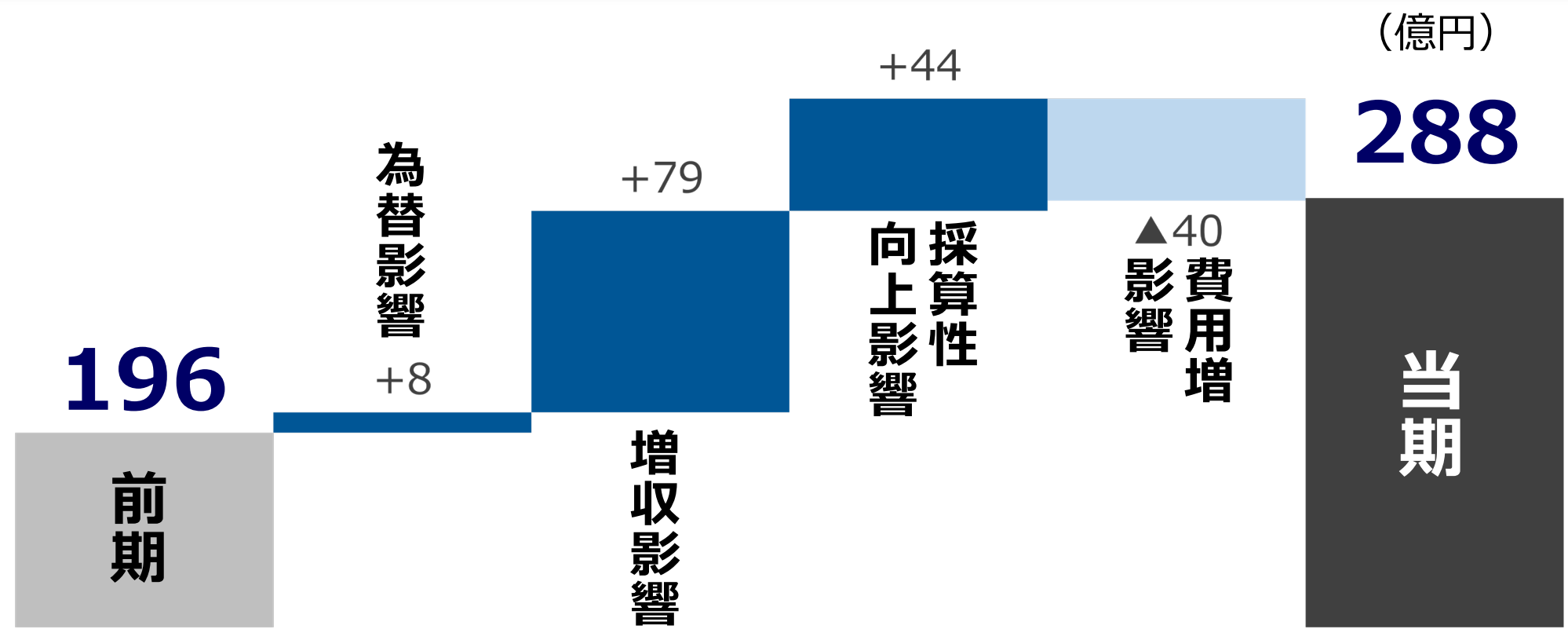
売上高 : +44億円
営業利益 : +8億円

為替感応度

	売上高	営業利益
米ドル	12億円	4億円
ユーロ	2億円	0.7億円

営業利益増減要因

- ・ 為替影響 : +8億円 (前年同期比で、米ドルが2%円安、ユーロは7%円安)
- ・ 増収影響 : +79億円
- ・ 採算性向上 : +44億円 (利益率の高い製品の増加、セグメントミックスの改善等)
- ・ 費用増 : ▲40億円 (人件費・売上関係費等の増加)



セグメント別損益

「計測・産業で、中間期業績の過去最高を更新」

計測機器：増収増益 ■ LCを中心に重点機種が牽引。PCR関連事業も需要が継続

医用機器：増収増益 ■ 回診用X線撮影装置の減少を、国内の医療機関の設備投資回復で補う

産業機器：増収増益 ■ ターボ分子ポンプの増加が継続、油圧機器・ガラスワインダー等も回復

航空機器：減収減益 ■ 前年同期の防衛大口案件の反動に加えて、民間航空機向けの減少が継続

単位: 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2021 中間期	FY2020 中間期	前同比		FY2021 中間期	FY2020 中間期	前同比		FY2021 中間期	FY2020 中間期	前同比 増減
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	1,306	1,098	+208	+19%	243	168	+76	+45%	18.6%	15.3%	+3.4pt
医用機器	321	306	+14	+5%	27	14	+13	+92%	8.4%	4.6%	+3.8pt
産業機器	268	205	+62	+30%	27	14	+13	+98%	10.1%	6.7%	+3.5pt
航空機器	102	160	▲58	▲36%	▲3	9	▲12	—	▲3.3%	5.4%	▲8.6pt
その他	24	19	+6	+30%	3	2	+2	+91%	10.0%	6.5%	+3.5pt
調整額	—				▲9	▲9	+0	—	—		
合計	2,021	1,788	+233	+13%	288	196	+92	+47%	14.3%	11.0%	+3.3pt

セグメント毎の業績をより適切に管理するため、当第1四半期から管理部門費をより合理的な配賦方法に変更している。前年比較については前年の数値を新配賦方法に基づき組み替えている。

1. FY2021 中間決算 概要

2. FY2021 中間決算 セグメント別業績

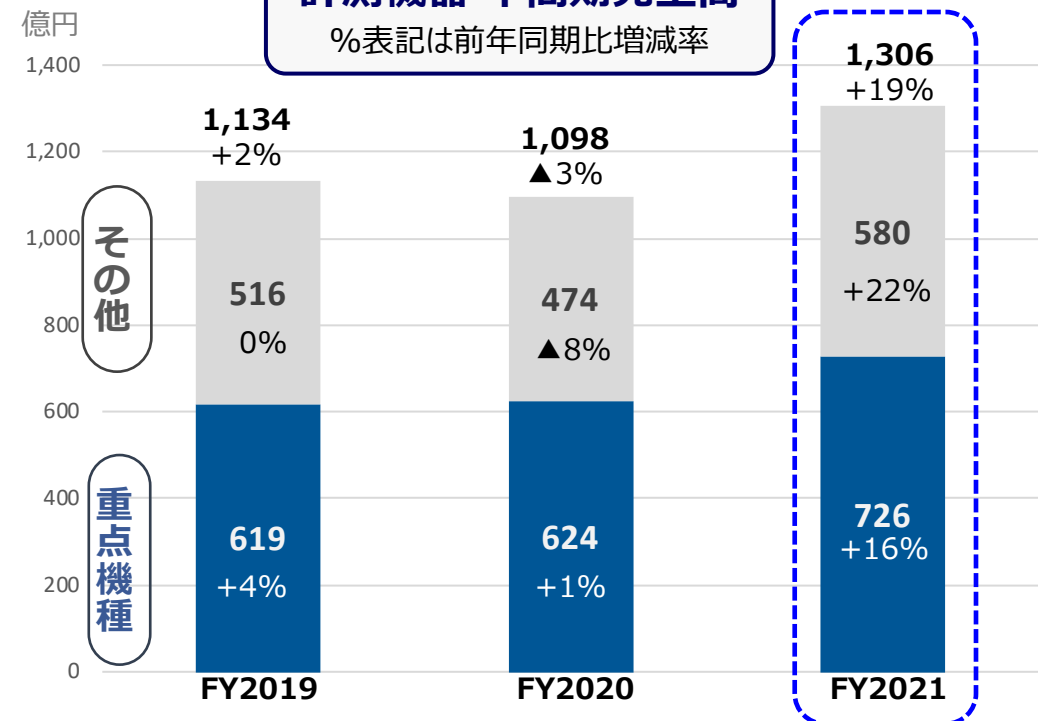
3. FY2021 通期予想

4. トピックス：重点施策

計測機器/機種別売上高

- ・重点機種 : 726億円(前年同期比 +103億円、+16%)
LCは医薬等、MSは医薬・臨床・大学向け等で増加
- ・その他 : 580億円(前年同期比 +106億円、+22%)
新型コロナウイルス検出試薬キット・全自動PCR検査装置が増加。また、環境機器・試験機等も増加
- ・アフターマーケット(AM) : 474億円(前年同期比 +102億円、+27%) / AM比率 : 36%(前年同期比 +2pt)

計測機器 中間期売上高
%表記は前年同期比増減率



計測機器製品

その他	 新型コロナウイルス 変異株 (L452R) 検出試薬キット	 全自動PCR検査装置 AutoAmp	 水質分析計 TOC-1000e	 材料試験機 オートグラフAGX-V
重点機種	 液体クロマトグラフ i-Series	 液体クロマトグラフ Nexeraシリーズ	 液体クロマトグラフ 質量分析計 LCMS-8060NX	 ガスクロマトグラフ GC-2030

計測機器/地域別売上高

グローバルで業績が回復、それぞれ大幅な増収となった。

- ・日本 : +18% 新型コロナウイルス検出試薬キット・全自動PCR検査装置が牽引。質量分析計も官公庁等で増加
- ・海外 : +20% 北米・欧州・中国・その他のアジアの海外主要地域で大幅に増加、ヘルスケア分野、食品安全分野、大学・政府機関等での需要回復を背景に増加
- ・海外売上高比率: 62.1% (前年同期比 +0.4pt)

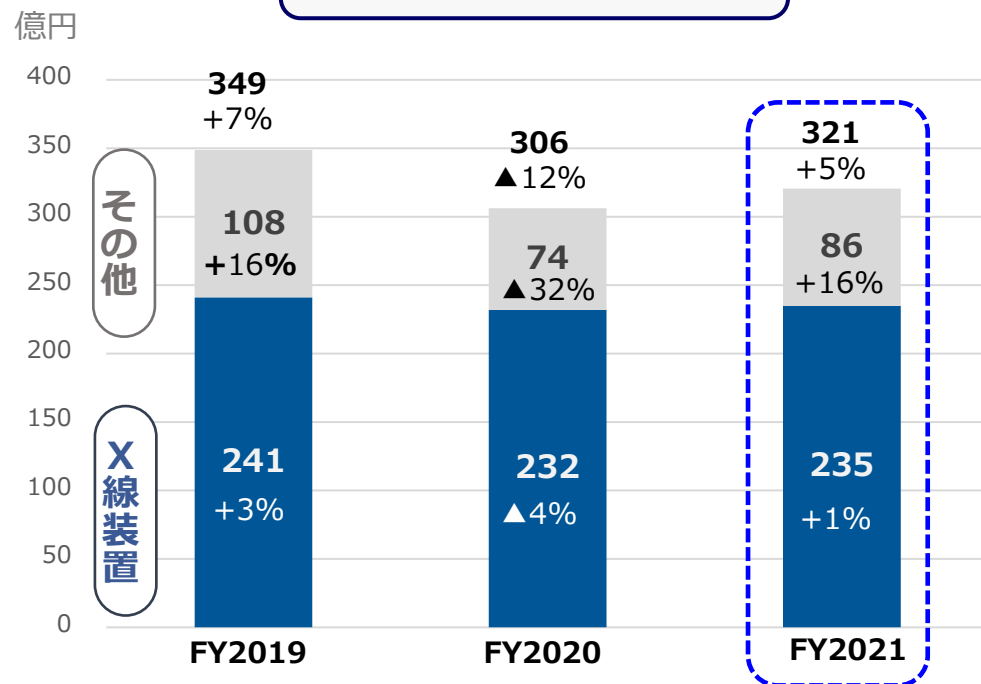
単位：億円	FY2021 中間期	FY2020 中間期	増減額	増減率	概 況
日本	495	421	+74	+18%	・新型コロナウイルス検出試薬キット・全自動PCR検査装置が増加 ・補正予算需要等で官公庁向けが増加
海外	811	677	+134	+20%	・北米・欧州・中国・その他のアジアの海外全地域で大幅に増加
北米	150	123	+27	+22%	・医薬・臨床検査向けに液体クロマトグラフが増加、大学・官公庁向けも増加
欧州	138	113	+25	+22%	・食品安全・受託分析等の民需に加えて、大学での需要が回復 ・液体クロマトグラフ・質量分析計が増加
中国	328	281	+46	+16%	・製薬・受託分析・食品安全分野で液体クロマトグラフ・質量分析計が増加
その他の アジア	142	121	+21	+17%	・製薬を中心に液体クロマトグラフ・質量分析計が増加

医用機器/機種別売上高

- ・X線装置 : 235億円(前年同期比 +3億円、+1%)
国内の補正予算による需要増等で回診用X線撮置の減少を補い増収
- ・その他 : 86億円(前年同期比 +12億円、+16%) 放射線治療装置用動体追跡システム等が増加
- ・アフターマーケット(AM) : 117億円(前年同期比 +14億円、+13%) / AM比率 : 36% (前年同期比 +3pt)

医用機器 中間期売上高

%表記は前年同期比増減率



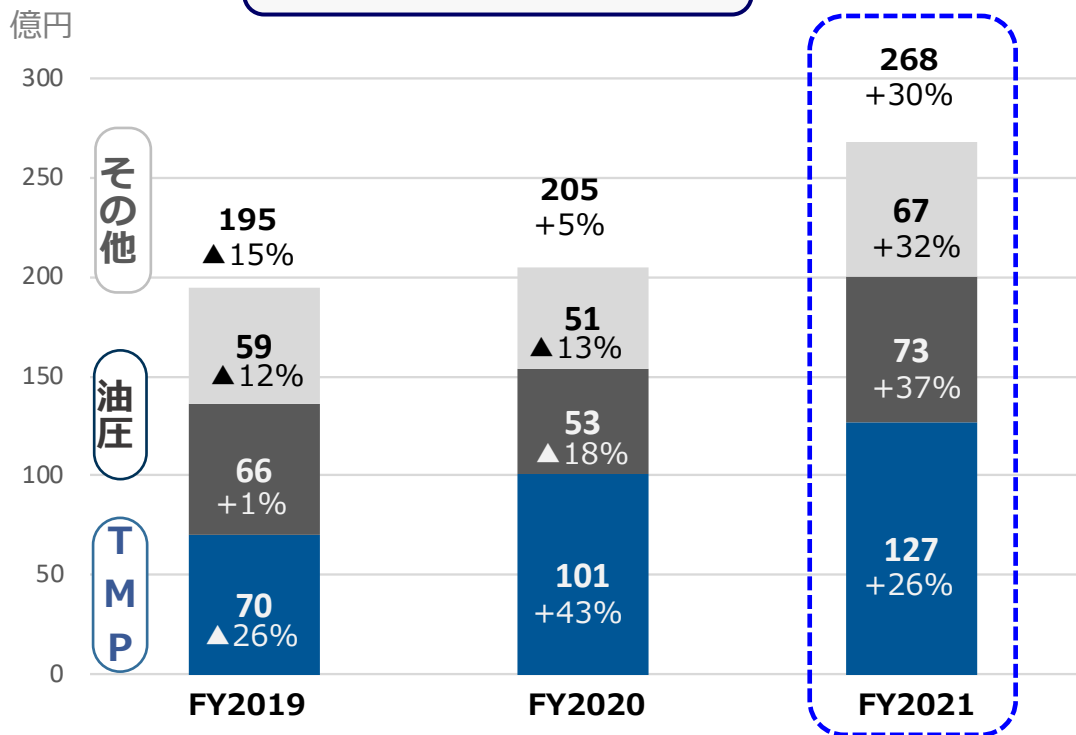
医用機器製品

その他				
	放射線治療用動体追跡システム SyncTraX	統合電子カルテ SimCLINIC T3	病院受付システム MERSYS-IV (感染症パッケージ)	TOF-PET装置 BresTome
X線撮影装置				
	X線TVシステム SONIALVISION G4	一般撮影システム RADspeed Pro	血管撮影システム Trinias unity edition	回診用X線撮影装置 MobileDaRt Evolution

産業機器/機種別売上高

- ・ **TMP** : 127億円(前年同期比 +26億円、+26%) 半導体製造装置向けを中心に増加が継続
- ・ **油圧** : 73億円(前年同期比 +20億円、+37%) フォークリフト・建機等の市況の回復により日本・中国で増加
- ・ **その他** : 67億円(前年同期比 +16億円、+32%) 中国などでのプリント基板増産の影響でガラスワインダーが増加
- ・ **TMPアフターマーケット(AM)**:22億円(前年同期比 +3億円、+17%)/AM比率 : 17% (▲1pt)

産業機器 中間期売上高
%表記は前年同期比増減率



産業機器製品

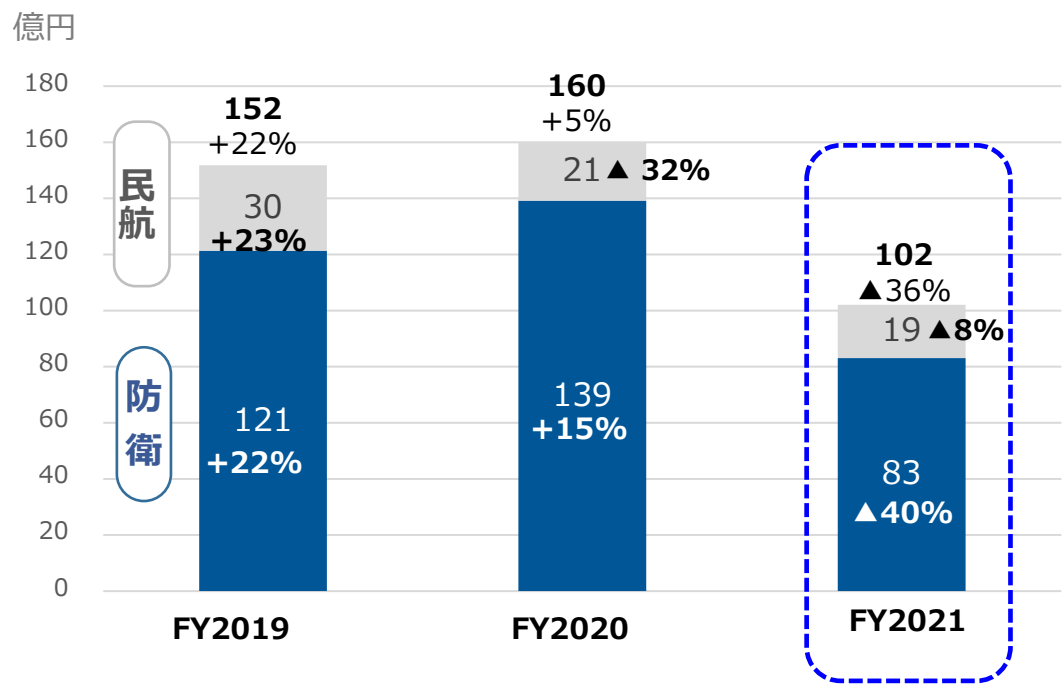


航空機器 / 分野別売上高

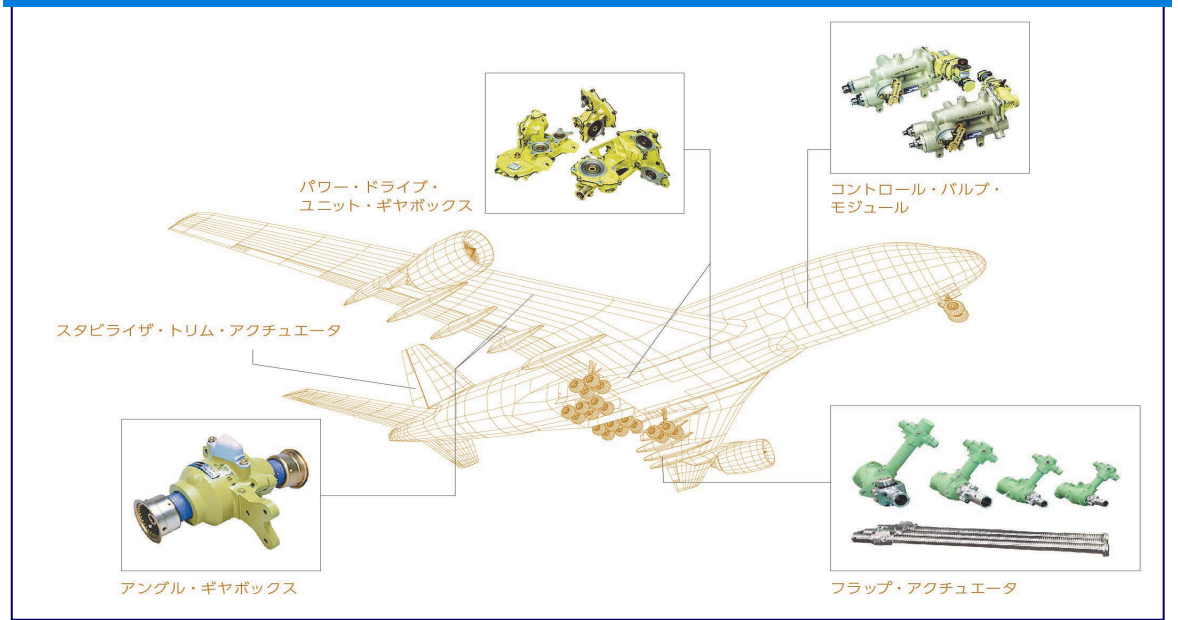
- ・防衛：83億円(前年同期比 ▲56億円、▲40%) 前年同期の大口案件の反動で大幅に減少
- ・民航：19億円(前年同期比 ▲2億円、▲8%) 民間航空機の減産により、ボーイング向け搭載機器を中心に減少

航空機器 中間期売上高

%表記は前年同期比増減率



民間航空機用搭載部品



1. FY2021 中間決算 概要

2. FY2021 中間決算 セグメント別業績

3. FY2021 通期予想

4. トピックス：重点施策

通期業績予想

- ・ 中間期の業績や今後の事業環境を勘案し、**売上4,200億円、営業利益590億円**に上方修正
- ・ 中間配当金は期初予想から**3円増の20円**。年間配当金は期初予想から**6円増の41円**に上方修正、**前期より7円増配**

単位：億円	通期			前回予想比		前期比		
	FY2021 新予想	FY2021 前回予想	FY2020	増減額	増減率	増減額	増減率	
売上高	4,200	4,100	3,935	+100	+2%	+265	+7%	
営業利益	590	530	497	+60	+11%	+93	+19%	
営業利益率	14.0%	12.9%	12.6%	+1.1pt		+1.4pt		
経常利益	600	520	484	+80	+15%	+116	+24%	
株主総体に帰属する当期純利益	430	390	361	+40	+10%	+69	+19%	
為替	平均レート：米ドル（円）	108.00	106.00	106.11	+2.00	+2%	+1.89	+2%
	ユーロ（円）	126.00	123.00	123.75	+3.00	+2%	+2.25	+2%
主要投資	研究開発費	175	185	157	▲10		+18	
	設備投資額	170	160	145	+10		+25	
	減価償却費	165	165	155	+0		+10	

為替影響

売上高：27億円

営業利益：9億円

配当金

中間配当20円（期初予想17円・前期15円）

期末配当21円（期初予想18円・前期19円）

年間配当41円（期初予想35円・前期34円）

通期セグメント別業績予想

計測：増収増益 ■ 医薬、食品等のヘルスケア分野、カーボンニュートラル推進による環境・エネルギー市場等、需要増が見込まれる市場への取り組みを推進

医用：増収利益横ばい ■ 回診用X線撮影装置需要の減少を、X線TV・血管撮影システムの拡販により補う。研究開発費増などにより営業利益は横ばい

産業：増収増益 ■ 半導体需要増加に伴い、半導体製造装置向けTMPが増加。また、グローバルで油圧機器が好調に推移

航空：減収減益 ■ 民間航空機を中心に厳しい市況が継続するが、固定費・経費削減などで利益を確保

単位: 億円	売上高						営業利益						営業利益率			
	FY2021 新予想	FY2021 前回予想	FY2020	前回予想比	前期比		FY2021 新予想	FY2021 前回予想	FY2020	前回予想比	前期比		FY2021 新予想	FY2021 前回予想	FY2020	前期比
				増減額	増減額	増減率				増減額	増減額	増減率				増減
計測機器	2,710	2,640	2,486	+70	+225	+9%	500	460	418	+40	+82	+20%	18.5%	17.4%	16.8%	+1.6pt
医用機器	675	670	669	+5	+6	+1%	50	40	50	+10	+0	+0%	7.4%	6.0%	7.5%	▲0.1pt
産業機器	535	515	451	+20	+84	+19%	55	50	34	+5	+21	+62%	10.2%	9.7%	7.4%	+2.7pt
航空機器	230	230	286	+0	▲56	▲19%	3	2	9	+1	▲6	▲66%	1.3%	0.9%	3.1%	▲1.8pt
その他	50	45	44	+5	+6	+14%	8	7	10	+1	▲2	▲19%	11.8%	10.4%	16.2%	▲4.4pt
調整額	-						▲26	▲29	▲23	+3	▲3	-	-			
合計	4,200	4,100	3,935	+100	+265	+7%	590	530	497	+60	+93	+19%	14.0%	12.9%	12.6%	+1.4pt

セグメント毎の業績をより適切に管理するため、当第1四半期から管理部門費をより合理的な配賦方法に変更している。前年比較については前年の数値を新配賦方法に基づき組み替えている。

1. FY2021 中間決算 概要

2. FY2021 中間決算 セグメント別業績

3. FY2021 通期予想

4. トピックス：重点施策

重点施策（1）：計測機器 成長領域への新製品投入と事業拡大

バイオ医薬品

バイオ医薬品ソリューションガイド
～細胞株の最適化から薬物動態まで～



ライフサイエンス

- ゲノム解析
 - プロテオーム
 - メタボローム
 - 細胞解析
 - イメージング
 - 脳機能測定
- ワクチンの開発・品質管理に向けたソリューション



食品安全・機能性食品

食品中残留農薬の分析



機能性成分の分析



環境

持続可能な地球、未来のために
— 島津の環境分析計測機器 —



新材料・マテリアル

CFRPの性能・信頼性向上に貢献する
Testing & Inspection Instruments for CFRP Industry
CFRP 分析・試験・検査評価機器



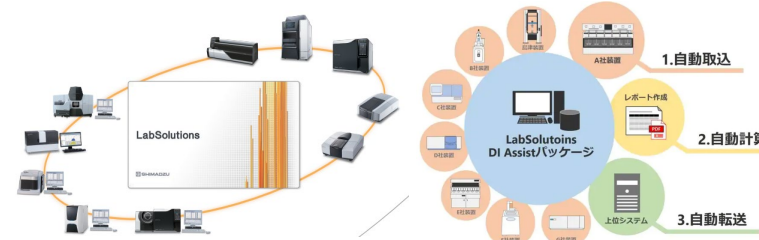
自動車

次世代自動車の開発と安全性を求めて
Solution for Automotive Industries
自動車関連試験・評価機器



島津製作所が提供するソリューション
Data Integrity Compliance in the Analytical Laboratory

分析・試験機器のデータインテグリティ



LabSolutions

島津のラボラトリインフォマティクス
データ採取からデータ管理までトータルサポート

重点施策（2）：製品強化 AI/IoT機能の組み込み

計測：Analytical Intelligence



ANALYTICAL INTELLIGENCE

- 島津が提案する分析機器の新しい概念
- システムやソフトウェアが、熟練技術者と同じように操作を行い、状態・結果の良し悪しを自動で判断し、ユーザーへのフィードバックやトラブルの解決を行う
- 分析機器に対する知識や経験の差を補完し、データの信頼性を確保

現時点での適用製品

液体クロマトグラフ 質量分析計 ガスクロマトグラフ 分光光度計
 LC (Nexera) LCMS-8060NX GC-2030 (Nexis) UV-I Selection



今後、他の計測製品にも展開

医用 AI

- AIを用いた熟練操作の自動化
- AIによる高画質化



X線画像

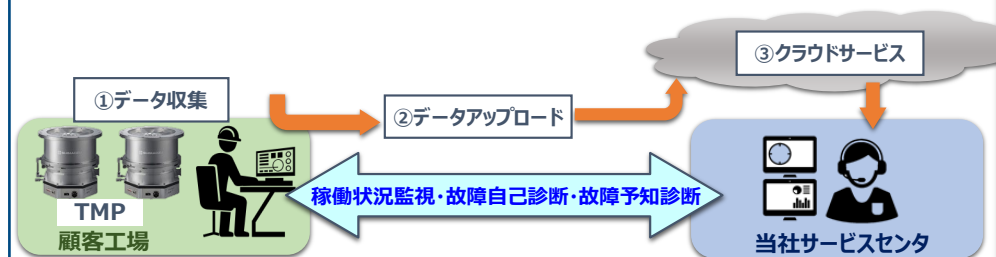


AI Assist



産業機器

- IoTを用いた装置稼働状況のリモート監視



重点施策（４）：カーボンニュートラルに向けた取り組み（計測・産業）

エネルギー関連

- 再生可能エネルギー
- 水素発電
など



炭素資源の活用

- CO2の分離・回収
- CO2の固定・輸送・貯留
など



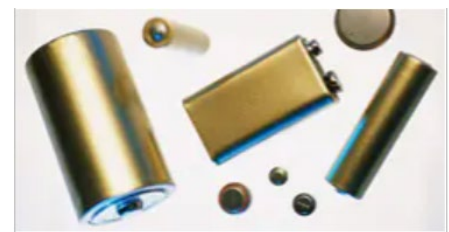
水素の活用

- 燃料電池
- 燃料電池自動車
など



電池・蓄エネルギー関係

- 蓄エネルギー技術
- 新規電池
- 地熱発電
など



バイオ技術による物質生産

- 微生物利用
- ゲノム編集
など



新技術

- 人工光合成
- 光触媒
など



重点施策（４）：バイオ技術による物質生産

化石燃料から化学合成で製品を生産

- 現代社会の基盤 **当社は分析・計測で支援**
- 世界のCO2排出量の約6%
- リサイクルなど3Rの取組加速



石油化学製品



プラスチック



塗料・インキ



フィルム



ゴム

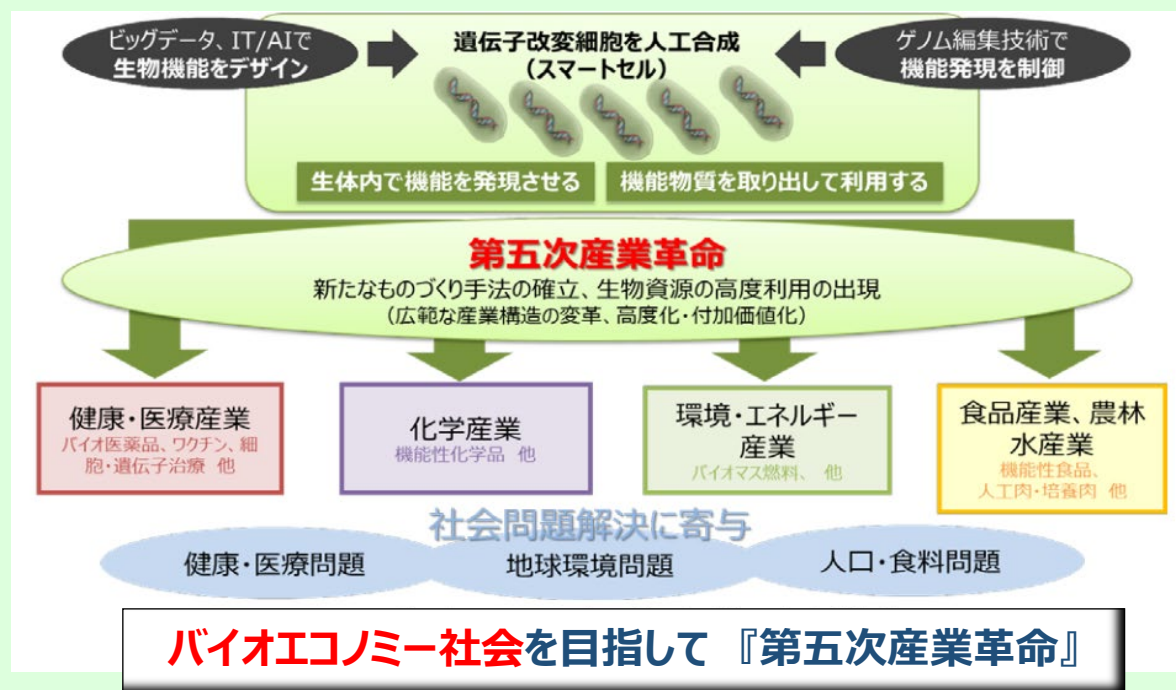


衛生用品

バイオ技術を用いた化学製品の生産

今後の
重要テーマ

- ゲノム編集とAI・ITの融合
- SDGsの17目標のうち気候変動や食糧問題など10以上に貢献
- 2019年は約40兆円市場、医薬品以外に化学品や食品などに広がり、2030年は約200兆円の市場



出典：経産省 バイオ小委員会報告書 バイオテクノロジーが拓く『第五次産業革命』



 **SHIMADZU**
Excellence in Science

本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
電話：075-823-1673 E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

損益計算書 (7-9月)

単位：億円		2Q		前年比	
		FY2021	FY2020	増減額	増減率
業績	売上高	1,078	986	+92	+9%
	営業利益	164	136	+29	+21%
	営業利益率	15.2%	13.7%	+1.5pt	—
	経常利益	166	133	+34	+25%
	親会社株主に帰属する当期純利益	118	98	+20	+21%
為替	平均為替レート：米ドル（円）	110.17	106.27	+3.90	+4%
	ユーロ（円）	129.87	124.17	+5.70	+5%
主要投資	研究開発費	38	37	+1	
	設備投資額	42	34	+8	
	減価償却費	40	38	+2	

為替影響額

売上高 : +23億円
営業利益 : +5億円

為替感応度

	売上高	営業利益
米ドル	12億円	4億円
EUR	2億円	0.7億円

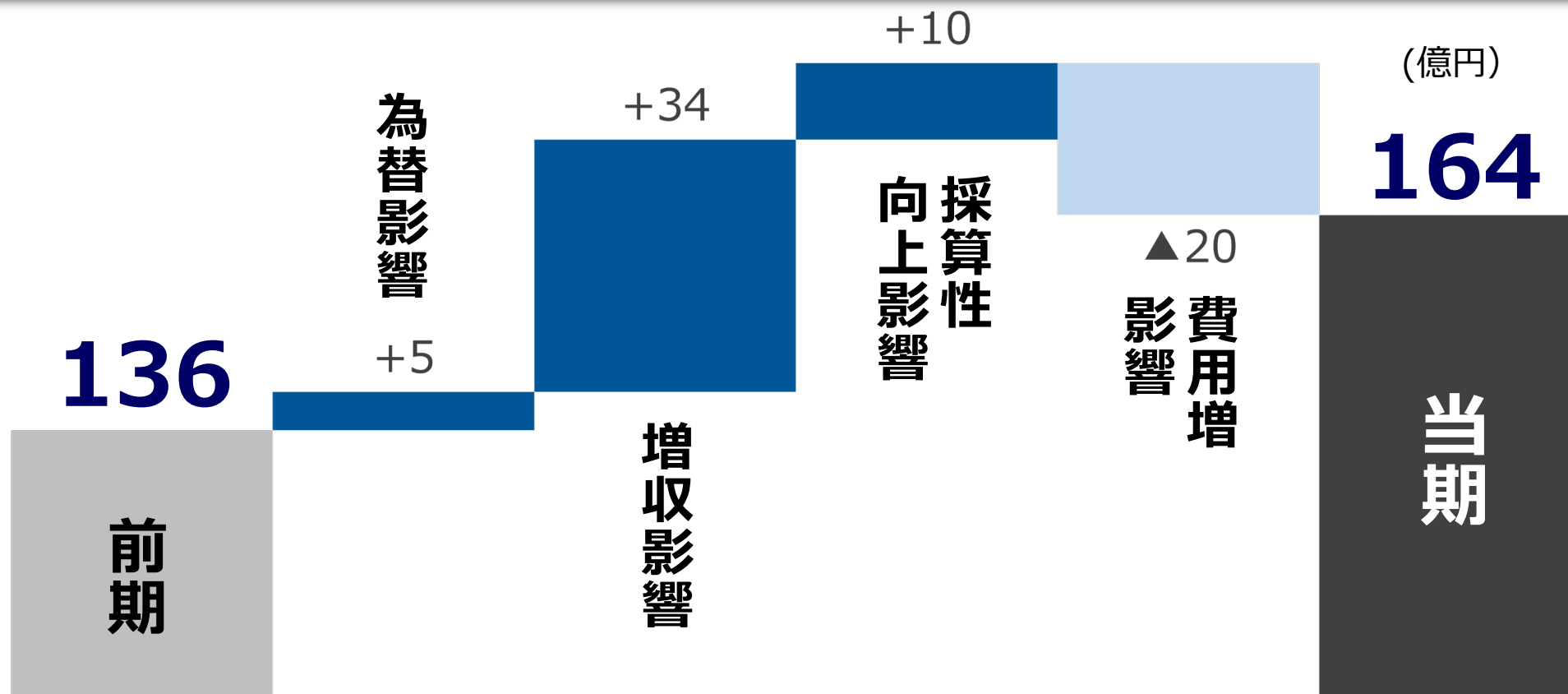
セグメント別損益（7-9月）

単位: 億円	売上				営業利益				営業利益率		
	FY2021	FY2020	前同比		FY2021	FY2020	前同比		FY2021	FY2020	前同比
			差額	増減率			差額	増減率			増減
計測機器	693	621	+72	+12%	134	115	+19	+16%	19.3%	18.5%	+0.8pt
医用機器	176	175	+1	+0%	18	12	+6	+49%	10.3%	6.9%	+3.4pt
産業機器	138	101	+37	+36%	13	6	+7	+123%	9.6%	5.8%	+3.8pt
航空機器	61	78	▲18	▲22%	0	7	▲7	▲96%	0.4%	9.3%	▲8.9pt
その他	10	10	+0	+3%	4	▲0	+4	-	▲1.6%	12.1%	▲13.7pt
調整額					▲5	▲5	▲0	-			
合計	1,078	986	+92	+9%	164	136	+29	+21%	15.2%	13.7%	+1.5pt

セグメント毎の業績をより適切に管理するため、当第1四半期から管理部門費をより合理的な配賦方法に変更している。前年比較については前年の数値を新配賦方法に基づき組み替えている。

営業利益増減要因 (7-9月)

- ・ 為替影響 : + 5億円:前期と比べUSドルが4%円安、ユーロは5%円安
- ・ 増収影響 : + 34億円
- ・ 採算性向上 : + 10億円:利益率の高い製品の増加、セグメントミックスの改善等
- ・ 費用増 : ▲20億円:人件費・売上関係費等の増加



計測機器/重点機種前同比

	FY2019					FY2020					FY2021	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
重点機種	+5%	+7%	+5%	▲10%	▲1%	▲5%	+2%	+11%	+22%	+8%	+20%	+7%
全体	▲4%	+10%	+4%	▲11%	+1%	▲7%	▲4%	+10%	+19%	+5%	+25%	+9%

*重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析計（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

計測機器/地域別売上高前同比

国	FY2019					FY2020					FY2021	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
日本	▲12%	+21%	+0%	▲5%	+1%	▲11%	▲15%	+15%	+11%	+1%	+26%	+12%
北米	+4%	▲5%	+16%	+4%	+5%	▲4%	+13%	▲8%	+5%	+1%	+31%	+7%
欧州	+1%	+19%	+2%	▲2%	+5%	▲5%	▲5%	+5%	+11%	+2%	+15%	+11%
中国	▲8%	▲4%	+4%	▲40%	▲12%	+12%	+14%	+18%	+74%	+25%	+22%	+5%
その他アジア	+19%	+11%	+8%	▲10%	+6%	▲25%	▲9%	+5%	+25%	▲2%	+22%	+6%
インド	+11%	▲3%	+27%	▲5%	+7%	▲35%	▲4%	+4%	+22%	▲3%	+2%	▲0%

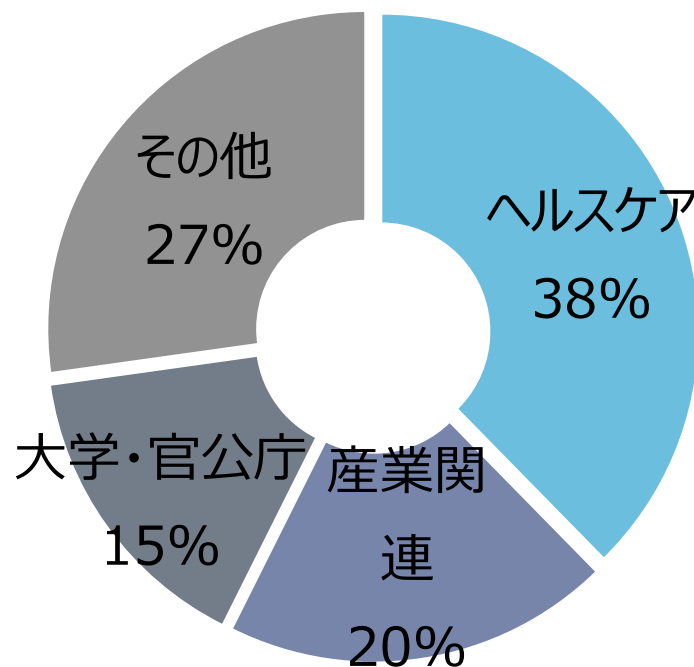
* インドはその他アジアの内数

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

計測機器／市場別売上高比率(4-9月)

- ・ヘルスケア : ヘルスケア分野向けにLC、MSが増加し、新型コロナウイルス検出試薬キットの需要が継続
- ・産業関連 : 設備投資が回復基調
- ・大学・官公庁 : 大学の再開や、各国政府の予算執行が進み、LC・MSが増加

市場別売上構成比



市場と主な業界	構成比			売上高 前同比	概況
	FY2021 構成比	FY2020 構成比	差		
ヘルスケア <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品・食品 ・医療機関 ・受託分析業 	38%	35%	+3.0pt	+27%	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬、受託分析、食品安全向けにLC・MSが増加 ・新型コロナウイルス検査試薬キット、全自動PCR検査装置が貢献
産業関連 <ul style="list-style-type: none"> ・化学・素材 ・電機 ・自動車 	20%	21%	▲1.0pt	+9%	<ul style="list-style-type: none"> ・設備投資は回復基調にあり、化学向けにGCが増加 ・日本の回復は弱い
大学・官公庁	15%	17%	▲1.0pt	+19%	<ul style="list-style-type: none"> ・大学は主に欧米が増加 ・官庁は各国政府の予算執行が進むとともに、財政支出などでLC・MSが増加

医用機器/地域別売上高(4-9月)

- ・日本 : +15% 補正予算需要に伴う設備投資の回復およびアフターマーケット事業が拡大
- ・海外 : ▲6% 回診用X線撮影装置が減少
- ・海外売上高比率 : 43.2% (前同比 ▲4pt)

億円	FY2021	FY2020	増減額	増減率	概況
日本	182	159	+23	+15%	<ul style="list-style-type: none"> ・補正予算需要に伴う設備投資の回復により、X線TVシステムなどが増加 ・アフターマーケット事業が拡大
海外	139	147	▲9	▲6%	<ul style="list-style-type: none"> ・設備投資は回復基調にあるものの、前年増加した回診用X線撮影装置が減少
北米	40	43	▲3	▲7%	<ul style="list-style-type: none"> ・設備投資が回復基調にあるものの、前年増加した回診用X線撮影装置が減少
欧州	15	21	▲6	▲28%	<ul style="list-style-type: none"> ・前年増加した回診用X線撮影装置の需要が大幅に減少
中国	24	27	▲3	▲11%	<ul style="list-style-type: none"> ・国産品との競合激化に加え、入札遅延などにより設備投資が停滞
その他 アジア	32	29	+3	+10%	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアにおいて、新型コロナウイルス感染再拡大により、回診用X線撮影装置が増加

医用機器/地域別売上高前同比

国	FY2019					FY2020					FY2021	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
日本	+6%	+30%	▲2%	▲5%	+7%	▲15%	▲33%	▲1%	+7%	▲12%	+24%	+8%
北米	▲24%	▲17%	+5%	+7%	▲9%	+14%	+29%	+26%	+1%	+16%	+2%	▲19%
欧州	▲26%	▲6%	+2%	▲8%	▲9%	+19%	+30%	+51%	▲3%	+27%	▲21%	▲42%
中国	▲33%	+5%	▲26%	+13%	▲8%	+34%	▲33%	+29%	▲25%	▲7%	▲27%	▲1%
その他アジア	▲8%	+3%	▲16%	+34%	▲0%	▲9%	+17%	▲4%	+20%	+6%	+15%	+5%

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

産業機器/機種別売上高前同比

	FY2019					FY2020					FY2021	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
TMP	▲25%	▲26%	+10%	+48%	▲1%	+46%	+36%	+7%	+9%	+21%	+13%	+35%
油圧	+2%	+1%	▲12%	▲5%	▲4%	▲19%	▲17%	+7%	+6%	▲6%	+34%	+34%
その他	▲37%	+19%	▲11%	▲1%	▲8%	▲7%	▲20%	+14%	▲16%	▲8%	+32%	+30%

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

アフターマーケット(AM)比率

計測

	FY2019					FY2020					FY2021	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
AM売上前同比	+3%	+6%	+10%	▲2%	+4%	+1%	+4%	+22%	+16%	+10%	+33%	+16%
AM比率	34%	30%	33%	32%	32%	37%	33%	33%	33%	34%	38%	35%

医用

	FY2019					FY2020					FY2021	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
AM売上前同比	+5%	+13%	▲3%	+2%	+4%	+1%	▲8%	+14%	+5%	+3%	+14%	+9%
AM比率	35%	28%	31%	30%	30%	37%	32%	32%	31%	33%	38%	35%

TMP

	FY2019					FY2020					FY2021	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
AM売上前同比	+13%	+9%	▲1%	+12%	+8%	+12%	+3%	+11%	+6%	+8%	+18%	+11%
AM比率	22%	27%	18%	18%	21%	17%	21%	19%	18%	19%	17%	17%

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外